

令和元年

能 泉 涌 流 多 喜

第八十三回

令和元年十一月九日(土) 一時始

仕舞 山姥 高林呻二

一曲独吟 鬼界島 高林白牛口三

龍田 高林昌司

京都府次世代等古典芸能普及促進公演

主催 高吟会

大江能楽堂

京都市中京区押小路通柳馬場東入ル 電話 075-231-7620

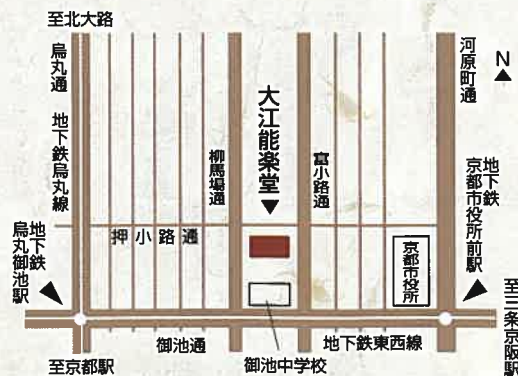
入場料 前売 7,000円 学生券 3,000円
当日 8,000円 全席自由席

問合せ先 〒603-8354 京都市北区等持院西町15 高吟会

電話075-462-1490 FAX.075-463-3494

E-mail koginkai@ares.eonet.ne.jp

URL <http://www.eonet.ne.jp/~koginkai/>



地下鉄「烏丸御池」または「京都市役所前」下車。徒歩約10分。

動静以天地
視哉涌泉美
鈿之翁

涌泉能番組

仕舞 山姥 高林呻二

一曲独吟 鬼界島 高林白牛口二

休憩二十分

龍

高林昌司

田

間

中村宜成

福王知登

喜多雅人

茂山人

谷口正壽
前川光範
林大和
森田保美

茂

附祝言

無知は罪？

高林白牛口二

京都にある大谷大学のキャンパス広告のキャッチフレーズです。京都市内の地下鉄車内広告です。如何にも仏教系大学らしい問い掛けです。これについて私自身の足跡を振り返って私なりの体験に基づいて感じた事を述べましょう。

私は単純に無知は罪ですとは言いつれなれないと思います。無知が罪ではなく無知に気がつかないのが罪と云うべきだと思います。

モノを知るという事は大切なことです。人間として生きて行く上ではモノを知らなければならぬ事だと思えます。

人間はそれぞれの道を歩んでいます。その道々に縁のあるモノを知り得てそれを活かして人生を送っています。

私は人生八十余年の内において自分で意識して能の道を歩むこと約七十年に及びます。しかし今の自分の結果を見て果たして自分の道を知って歩んできたかと問われると素直にハイとは言えない気分です。

今ここにこんな事を書きながら半分は恥ずかしい思いを禁じられませぬ。私自身は非常に好奇心の強い部類に入る人間と思っています。物

事の基点を求める事に興味を強く持つて生きて来たと思えます。これはモノを知ると言う事に他ならないでしょう。でもそれが果たして私の

人生にどれだけのプラスを与えてくれたかという甚だ疑問に思う今日この頃です。

それでも今回も懲りずに一曲独吟を謡います。活きている力を全部曝け出して謡い通します。どうぞお聴き下さい。

次回予告

令和元年十一月二十九日(金) 十八時始

第七回 高林白牛口二の謡を聴く会

於 喜多能楽堂

一曲独吟 砧

高林白牛口二

主催 高吟会

許可なく写真撮影録音録画は、堅くお断り致します。携帯電話 ポケットベル 時計のアラームは、予めお切り下さい。